

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月21日更新

事務事業名		英語検定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款10	項3	目1	事業連番11768	根拠法令	熊本県教育・文化等振興補助金交付要項 中学校英語検定チャレンジ事業		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	令和元年度から、熊本県において中学校英語検定チャレンジ事業補助金が実施され、中学校3年生の英検受験料の3分の1の助成が開始されることになった。本市においても、グローバル人材の育成を目指し、生徒の英語力向上に向け、積極的な挑戦を支援するため、すべての中学校3年生を対象とし、授業のなかで英検受験を取り入れる。
【業務の流れ】	公益財団法人日本英語検定協会へ団体申込み→検定料の支払い→試験実施→可否通知 英語検定チャレンジ事業補助金の申請→補助金の交付決定→事業実績報告書の提出→補助金の交付額確定→補助金の請求
【主な予算費目】	役務費 (英検受験料)
【意見や要望】	県教育委員会より、中学校英語検定チャレンジ事業への積極的な参加を促されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	すべての中学校3年生を対象とし、授業のなかで英語検定を実施した。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様に、中学3年生の授業のなかで英語検定を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 英検受験した生徒数	予算の主な増減の理由 中学3年生の生徒数増に伴う役務費の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	中学3年生の生徒。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 中学3年生の生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア: 今年度英検3級以上を取得した生徒数
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	人	493	651	622	634				
	イ									
② 対象指標	ア	人	682	651	705	705				
	イ									
③ 成果指標	ア	人	150	165	179	180				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	599	858	697	916			
		地方債	千円							
		その他	千円			165	165			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	1,199	1,716	1,232	1,669				
		(A)のうち指定経費	千円	1,798	2,574	2,094	2,750			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	50	40	50	40			
	(B)人件費計	千円	198	159	197	159				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,996	2,733	2,291	2,909				

事務事業名	英語検定事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全員英検受験とすることで、英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 中学3年生が対象であり、対象生徒の英語力の向上に伴い、成果の向上余地がある
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 中学校の授業で取り入れるため、他に手段はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 英検受験料のみであるため、削減余地がない
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の時間で実施しているため、削減の余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 授業で取り入れるため、全員受験となり公平・公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 中学校の授業において実施しているため、見直し余地はない

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

生徒の英語力向上により成果は向上するが、そのための環境作りについては全員受験という形で整えているため、事業自体は現状維持となる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p><b>現状維持</b></p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						